

2022年12月15日開催・ローカルSDGs/地域循環共生圏セミナー@中部

中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部) について

中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部) 富田夏子

EPO中部とは

「EPO」とは

「EPO;環境パートナーシップオフィス」は、協働取組を構築・促進する中核的な担い手として、環境省が環境教育等促進法に基づき全国に設置した施設・組織。

「EPO中部」は

富山県、石川県、福井県、長野県、愛知県、岐阜県、三重県の中部エリアで、SDGsの推進・実践や環境活動に取り組む皆さんをサポートする環境省の施設です。持続可能な地域づくりにEPO中部をご活用ください。



こんな時はEPO中部へ

情報が知りたい、情報を収集したい

「協働、ESD・SDGsに関わる情報」
「国や自治体などの環境保全、環境学習等に関わる施策・計画」
「全国の／地域の環境活動の動向」
「ほかの地域や団体等の取組事例やイベント」
などの資料やパンフレット等を入手できます。
(一部資料は閲覧のみとなっています。)



相談・照会したい、紹介してほしい

環境保全活動や環境学習、ESD・SDGs、地域づくり・人づくり・ネットワークづくりなどに関わる相談・照会を受けています。

◆例えば(実績)

- ・小学校での環境学習の講師役の紹介
- ・SDGsに関連するCSRイベントの企画
- ・地域住民との意見交換会への出席者の紹介 など



ちょっとした会議や打合せにも

ミーティングや資料閲覧などに、施設内のフリースペースをご利用いただけます。

※会議・打合せなどの長時間利用の場合は、事前にご連絡いただけますと幸いです。



広報したい、PRしてほしい

中部地方の環境活動やESDに関わる活動についての情報発信をウェブサイト、メルマガなどで行っています。参加募集の広報を行いたいイベントや、広くPRしたい活動などがございましたら、情報をお寄せください。

◆EPO中部／中部地方ESD活動支援センターからの発信媒体

EPO中部：<http://www.epo-chubu.jp/>

中部地方ESD活動支援センター：<http://chubu.esdcenter.jp/>

メルマガ：そらいる通信 ～EPO-Chubuメールマガジン～

(毎月第2火曜配信)

EPO中部の“お役立ちツール”

お役立ちツール

そのほかEPO
が実施したWS
プログラムを公
開中



EPO中部の ワークショッププログラム

地域循環共生圏づくり（ローカルSDGs実践）に取り組む地域／団体などを対象に、EPO中部が実施したワーキングのプログラムを紹介・公開しています。



活動見える化プログラム

EPO中部では、協働取組の支援のため「活動見える化プログラム」を構築し、地域活動における地域循環共生圏やSDGsへの貢献を可視化する分析手法として活用しています。



SDGsチェックリスト

SDGsチェックリストは事業や活動を17ゴールと関連づける『気付き』のためのツールで、中部地方ESD活動支援センター（EPO中部）のオリジナル・ツールです。

本日
後半で使用



EPO中部・ 協働コーディネーターのリスト

協働取組の促進には、協働コーディネーターの存在が不可欠とされています。EPO中部は地域の人材である協働コーディネーターの活用促進にも取り組んでいます。



中部の環境イベントリスト

中部エリアで開催されている出展可能な環境関連イベントのリストを作成しました。活動・取組をPRする場・機会をさがす際などにご活用ください。



EPO中部関連業務 報告書アーカイブ

平成17年度（2005年度）以降にEPO中部の関連業務において作成された報告書を公開しています。

いずれもEPO中部ウェブサイトで公開。DLできます。<https://www.epo-chubu.jp>

SDGsチェックリスト(基本段階版) ver.1.20

監修：SDGsツール作成ワーキンググループ(2019年度) 発行：環境省中部地方環境事務所・中部地方ESD活動支援センター

〇社会の一員として、すでに行っていることを、振り選ってみる
すでに行っている取組内容を記入し、貢献しているSDGs目標には〇を、
足を引選っているSDGs目標には△をつける。

分類と表示	すでに行っている取組内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	〇/△ の合計	SDGs目標を記入した理由
1. 飲食の提供や 管理	食堂、 キッチン等の 運営管理																		／	
2. 省・脱炭素 エネルギー 利用	省エネの実践、 再エネ利用																		／	
3. 水利用と 排水	節水、 雨水利用、 排水処理の工夫																		／	
4. 通勤(通学)、 搬送、輸送、 配達	公共交通利用、 エコカー採用、 エコドライブ																		／	
5. 調達(購入)と 廃棄物処理	効率的調達、 グリーン購入、 地産地消、 3R																		／	
6. 施設と設備	環境配慮建築、 持続可能性や 多様性に配慮 した施設や設備																		／	
7. 公正な働き方	教育の推進、 役割の公平性、 多様な関係者の 人権の尊重																		／	
8. 社会参加と 交流	地域での連携、 地域活動参加 など各種コミュ ニティへの貢献																		／	
9. 安心・安全	地域防災、 地域防犯																		／	
10. その他 の仕事(事業)などを 通じた貢献																			／	
〇/△の合計		／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	



SDGsチェックリスト

ダウンロードして自由に活用
いただけます。

基本段階版・簡易版・事業所
活用版あり



ワークショップ用シート (通称:U字シート)

グループワーキングなどで活用いただけます。

EPO 中部／中部地方 ESD 活動支援センター 提供
SDGs 17 ゴール・ワーキング用シート

テーマ：

内容（取組など）

1 貧困をなくそう

2 気候変動に具体的な対策を

3 健康と長寿を促そう

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

8 働きがいも、経済成長も

9 産業、国内産業を活気づけよう

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任、つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさも守ろう

16 平和と公正をすべての人に

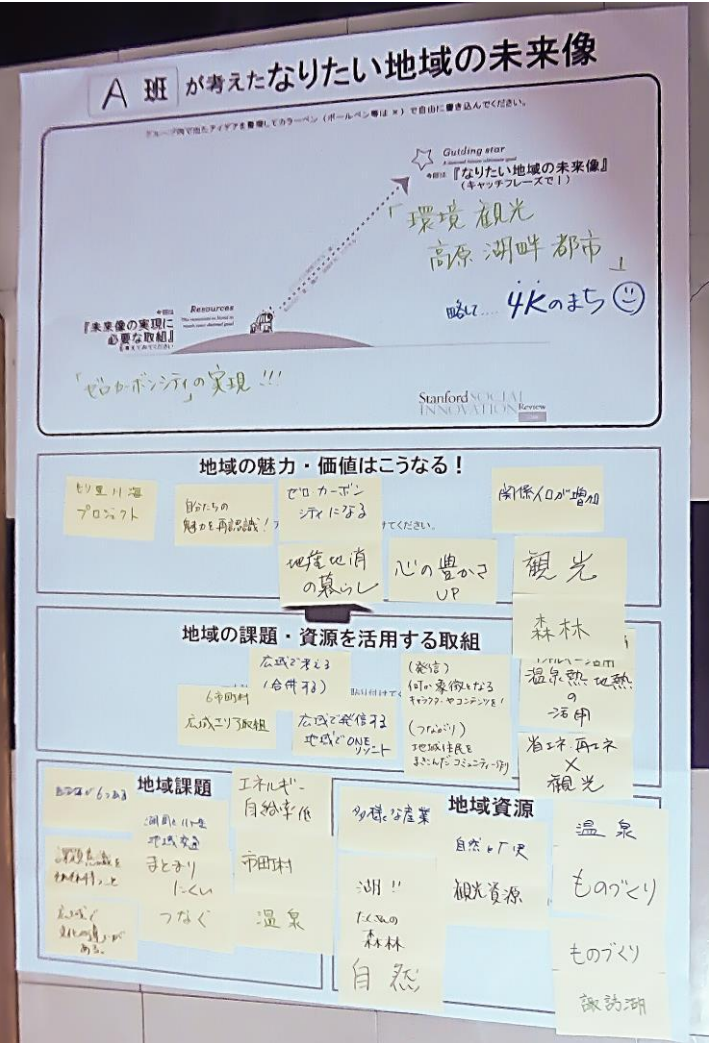
17 パートナリーシップで目標を達成しよう

EPO中部と地域循環共生圏づくり支援

□ーカルSDGs = 地域循環共生圏 = 地域のなりたい未来像

2022年11月23日開催・地域循環共生圏フォーラム in SUWA

- 長野県諏訪市で開催した地域循環共生圏フォーラムinSUWA「諏訪広域エリアのもり・さと・かわ・うみビジョン」にて、地域の未来像づくり共有ワークショップを実施。



「地域循環共生圏」を目指す。環境省EPO中部。諏訪広域脱炭素イノベーション協会共催。諏訪でフォーラム。環境省の中部環境パートナーシップオフィス（EPO中部）は23日、一般社団法人諏訪広域脱炭素イノベーション協会（諏訪市）との共催事業で、「地域循環共生圏フォーラム in SUWA」を諏訪市文化センターで開いた。京都大学名誉教授の田中克さん（79）らの講演やワークショップを通して、持続可能な地域の未来像を考えたい。地域資源を活用しながら自ライン視聴を含めて約150人が参加した。田中さんは「森里海」の旅を目指す試み。「諏訪広域エリアのもり・さと・かわ・うみビジョン」をテーマに、オ地などを訪れた自身の体験を

「未来の子供たちにすてきなバトンを手渡ししたい！」と沖永良部島から）をテーマに語った。地球環境問題として、気候変動や生物多様性の喪失、微小の「マイクロプラスチック」による海洋汚染を挙げ、社会活動の転換が必要である」と指摘。「不便さを知恵と知

識で乗り越えていくことが、自然の循環と同化できる唯一の持続可能な暮らしのかたち」と強調した。ワークショップでは、EPO中部の職員を進行役に、参加者が六つのグループに分かれて意見を交わした。地域の課題、資源を取り上げ、活用していく取り組みを考案。デザインの未来像を思い描いた。環境省中部地方環境事務所

の曾山信雄環境対策課長はあいさつで、2050年の脱炭素社会実現に向け「この町に何を残したいのか、今始めるべき取り組みは何かを皆さんで考えてほしい」と呼び掛けた。



「地域循環共生圏」を目指す

環境省EPO中部

諏訪広域脱炭素イノベーション協会共催
諏訪でフォーラム

環境省の中部環境パートナーシップオフィス（EPO中部）は23日、一般社団法人諏訪広域脱炭素イノベーション協会（諏訪市）との共催事業で、「地域循環共生圏フォーラム in SUWA」を諏訪市文化センターで開いた。京都大学名誉教授の田中克さん（79）らの講演やワークショップを通して、持続可能な地域の未来像を考えたい。

地域資源を活用しながら自ライン視聴を含めて約150人が参加した。田中さんは「森里海」の旅を目指す試み。「諏訪広域エリアのもり・さと・かわ・うみビジョン」をテーマに、オ地などを訪れた自身の体験を

長野日報2022年11月24日記事
<http://www.nagano-np.co.jp/articles/101881>

EPOが支援するローカルSDGs(地域循環共生圏と地域の未来像づくり)

EPO:環境 **パートナーシップ** オフィスがお手伝い

なぜ？

EPOの役割: **“協働”**を支援すること

“協働”とは？

多様なステークホルダーが集まり対等な関係で
それぞれの強みを活かし、弱みを補完し合って
協力して取り組むこと

それでは

なぜ環境省が？なぜ“協働”なのか？

地域が自立し支えあう

低炭素・資源循環・自然共生

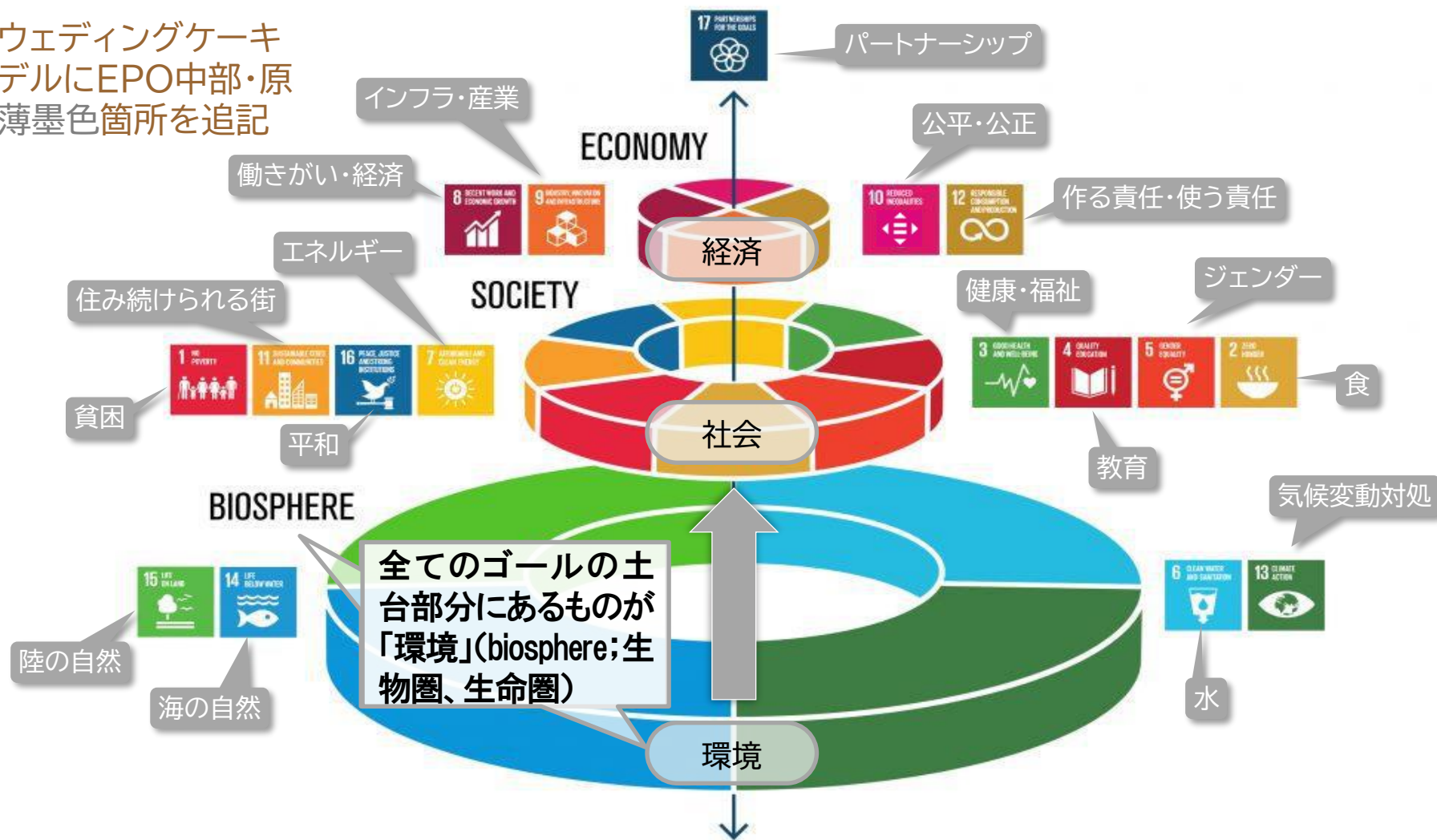


地域循環共生圏づくりはローカルSDGsの実践

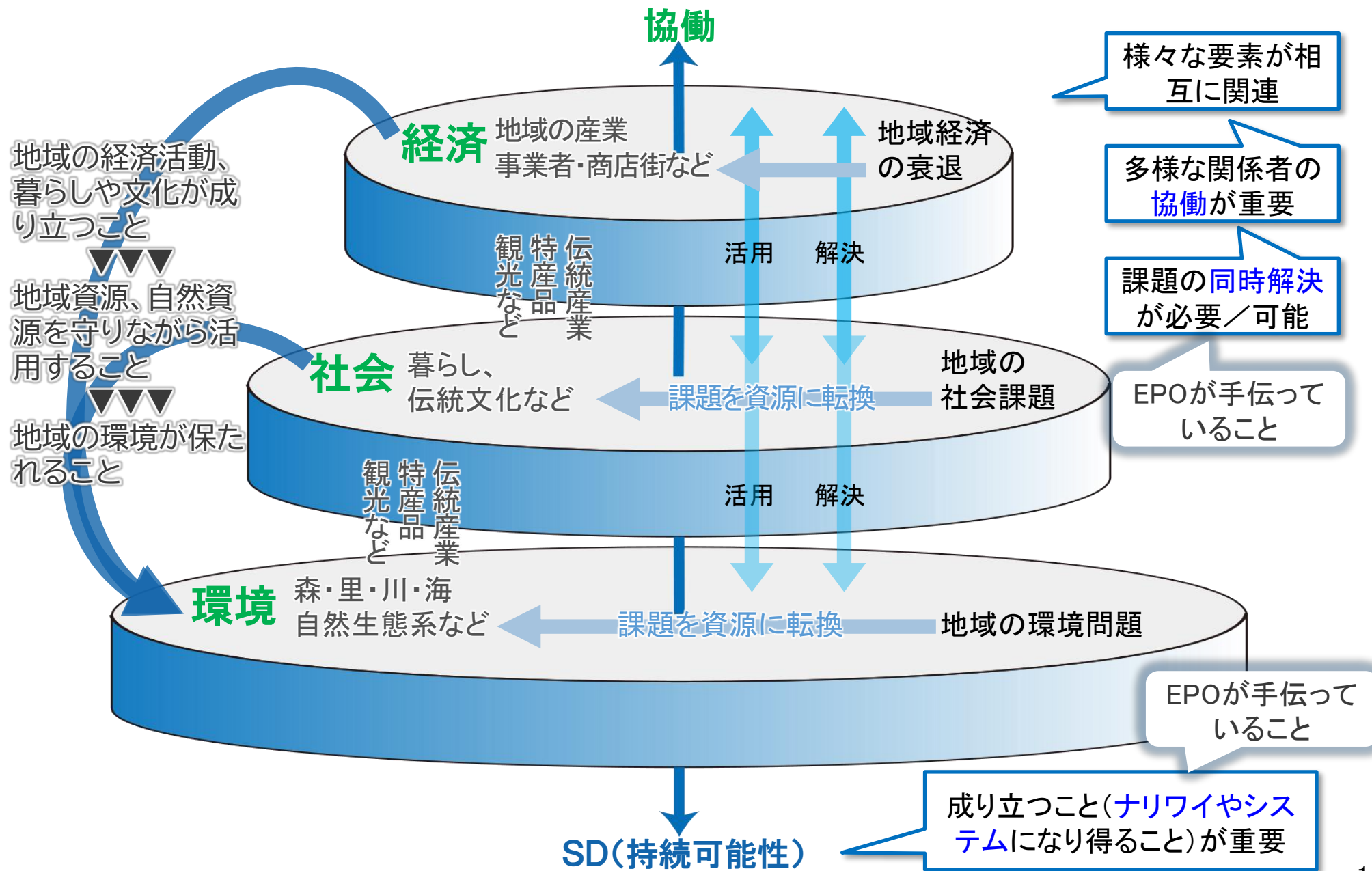
SDGsでは「環境」が・・・

相互に関連するSDGsの例：ウェディングケーキモデル

※ウェディングケーキモデルにEPO中部・原が薄墨色箇所を追記



EPO中部の関わってきたローカルSDGs;地域循環共生圏づくり



環境省ローカルSDGs
「地域循環共生圏づくりプラットフォーム」
サイト

こちらのサイトで全国の地域循環共生圏
づくり事業の事例が紹介されています。

環境省ローカルSDGs

— 地域循環共生圏づくりプラットフォーム —

[Google](#)
[検索](#)
[大](#)

[環境省](#)

知る 先進事例を知ろう	まなぶ つくり方を学ぼう	つながる 他の取組地域に繋がろう	であう 企業等のパートナーを見つけよう	しかける 新しい仕組みをつくらう
---------------------------------	----------------------------------	--------------------------------------	---	--------------------------------------

自然も経済も持続可能、そんな社会創りを応援する

環境省ローカルSDGs ～地域循環共生圏づくりプラットフォーム～

企業の方へ

地域の方へ

新着情報

一覧へ

- 2021/5/21

更新済み

「地域循環共生圏実践地域登録制度」に2団体（東京都1団体、滋賀県1団体）を追加登録しました。引き続き登録を受け中です。
- 2021/5/13

お知らせ

令和3年度環境省予算の地域循環共生圏に関する支援メニューを更新しました。
- 2021/4/28

更新済み

「地域循環共生圏実践地域登録制度」に3団体（青森県1団体、鳥取県1団体、福岡県1団体）を追加登録しました。引き続き登録を受け中です。
- 2021/4/28

企業向け

「企業等登録制度」に2事業者（No.92～93）を追加登録しました。引き続き登録を受け中です。
- 2021/4/22

お知らせ

令和2年度活動団体の登録費料をお知らせしました。

地域循環共生圏とは

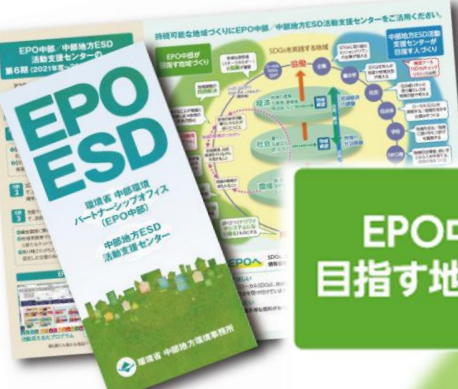
“地域循環共生圏”とは、各地域が足もとにある地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会の特性に応じて資源を補充し支え合、環境・経済・社会が統合的に調和し、地域でのSDGsの実現（ローカルSDG）を発揮されることを目指す考えであり、各地域のSDGsの実現（ローカルSDG）のために得べき役割や企業、金融機関、自治体の役割等を考える「ESG金融SDGsビジネスモデル（図表）」をオンラインで開示します！

□ーカルSDGs = 地域循環共生圏 = 地域のなりたい未来像

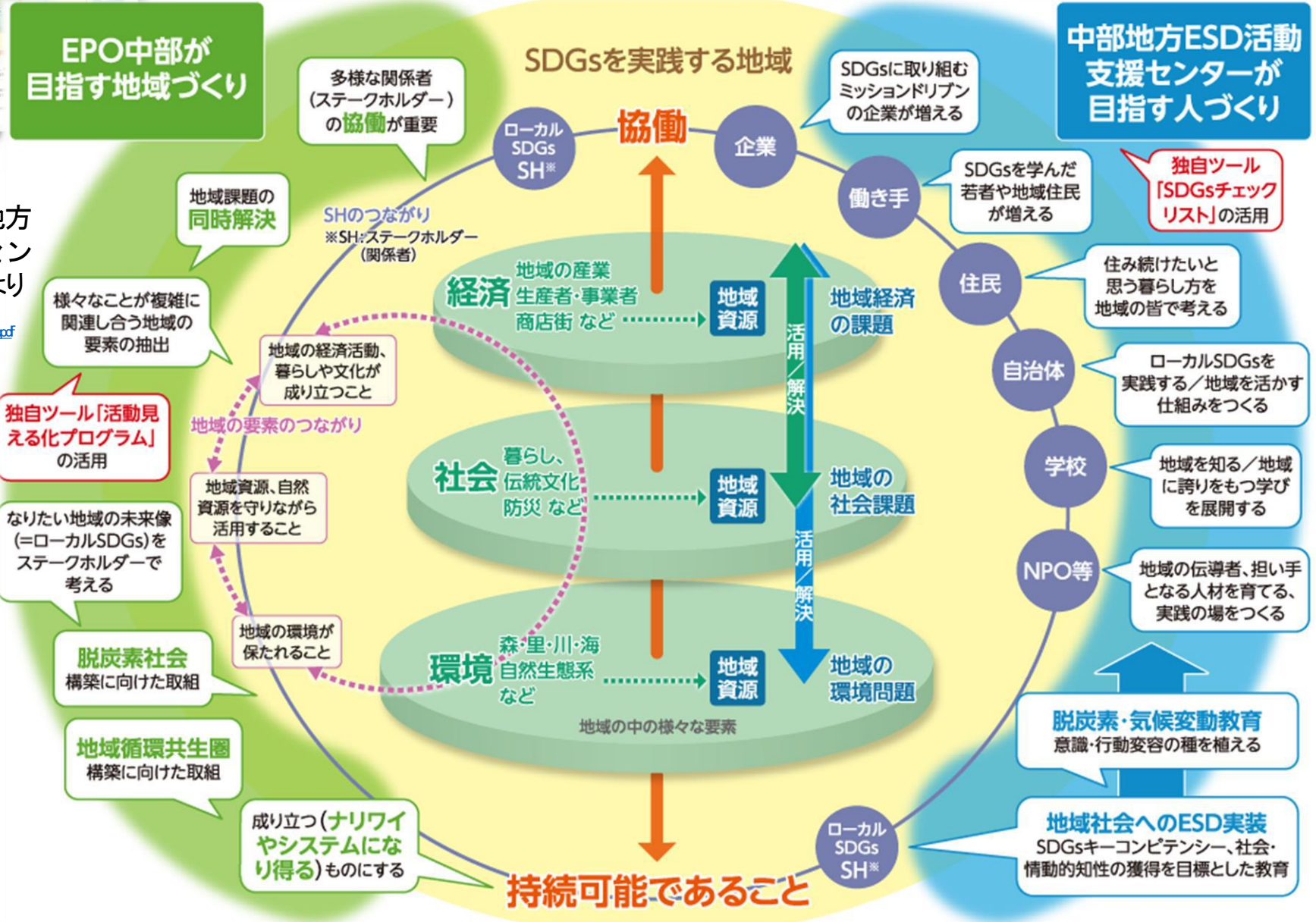
諏訪フォーラムのように、EPO支援にて、
地域で地域のなりたい未来像づくりWSを
実施してみたいという団体／地域は、
EPOへご一報ください。

環境省事業（地域循環共生圏プラットフォーム構築事業）に
ご関心のある方は、事業の公募説明会（1月開催予定）に
ご参加ください。（末尾「お知らせ」参照。）

Education for Sustainable Development
＝持続可能な開発のための教育



EPO中部／中部地方
ESD活動支援セン
ターのリーフレットより
<https://www.epo-chubu.jp/wp/wp-content/uploads/2021/10/chubuEPOESDweb.pdf>



お知らせ

生物多様性主流化フォーラムin中部 「OECMを通じた企業の生物多様性保全活動」を開催

OECMのメリットや事例の紹介などを行います。

- 日時: 1月25日(水) 13:30~14:30
- 参加方法(申込フォーム):
<https://forms.gle/z5do7ofwtewSbkVP7>
- 詳細: <https://www.epo-chubu.jp/epo-news/17367.html>

地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業の次年度(令和5年度)活動団体を募集

- 1月17日に公募開始: 要領発表予定。
- 発表されしだい、EPO中部ウェブサイトでも告知いたします。
- 公募についてのオンライン説明会を1月に開催予定。

今年も開催します 「SDGs学生サミット」

大学生とSDGs未来都市(自治体)による取組発表とセッションを実施予定。

- 日時: 2月4日(土) 13:00~17:00
- 視聴方法: YouTubeライブ配信を自由視聴(事前申込は不要)
- URL: <https://www.epo-chubu.jp/epo-news/17840.html>